

上小阿仁 高橋旅館 中3生6人にそば

入試「十割」合格願う



上小阿仁村沖田面の高橋旅館(高橋健生店主)が1月30日、高校入試を控えた上小阿仁中学校の3年生6人に、合格率「十割」を願って、十割そばを振る舞った。

6人は「合格」や「必勝」と

書かれた鉢巻きをして入店。事前に選んだざるそばやかかけそば、えび天そばなどが運ばれると、全員で「いただきます」と手を合わせ、名物のそばに舌鼓を打った。

ざるそばを食べた鈴木大和さんは「とてもおいしくて、最後の追い込みを頑張るエネルギーになった。そばのようにするすると合格したい」と笑顔を見せた。

高橋旅館は毎年この時期に、地元の受験生を対象に十割そばを振る舞っている。従業員の高橋渉さん(56)は「体調管理に気を付けながら、全力で挑んでほしい」と話した。

(原田大生)

(令和8年2月3日(火) 秋田さきがけ新聞から一部抜粋)